

Ⅱ 参考値による時系列比較(従業者4人以上の事業所)

1 平成 19 年の概況

～ 出荷額，付加価値額ともに，史上最高額となる ～

《 これまでの最高額（平成 3 年）を 16 年ぶりに更新 》

〔出荷額〕 これまでの最高額（平成 3 年）より 2.3%増（2157 億円増）

〔付加価値額〕 これまでの最高額（平成 3 年）より 1.0%増（315 億円増）

（参考値）平成 19 年調査においては，調査項目が追加（転売収入など製造活動以外の項目を新たに調査）されたことなどにより，出荷額及び付加価値額については，前年までの数値とは接続しなくなった。このため，前年までの比較ができるよう，前年までの定義に近似する形で県が独自に算出した数値を「参考値」とした。

《全体の動向》

- ◆ 出荷額は，9 兆 6144 億円〔前年比 12.1%増（1 兆 357 億円増）〕で 5 年連続の増加
- ◆ 付加価値額は，3 兆 2241 億円〔前年比 15.0%増（4204 億円増）〕で 2 年ぶりの増加

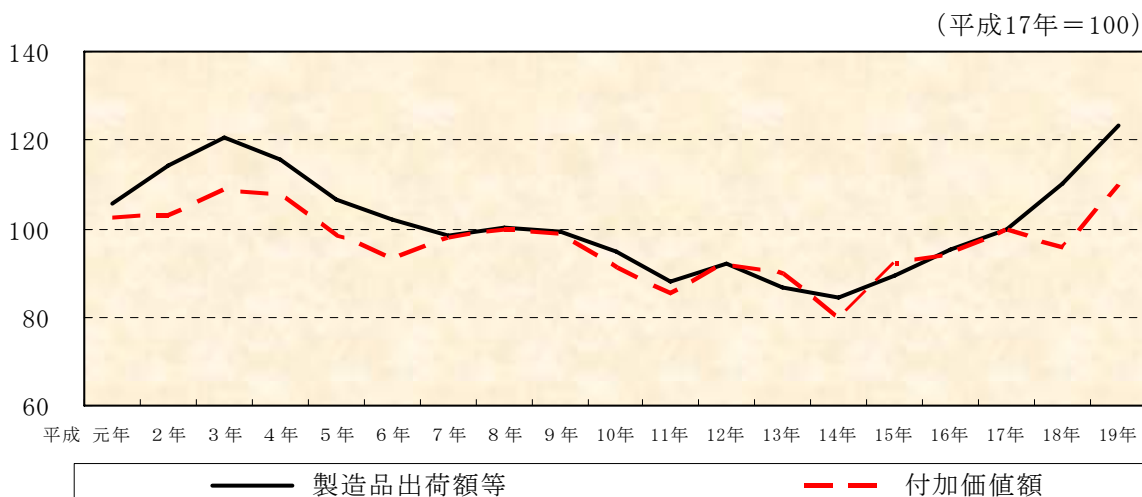
《産業別の状況》

- ◆ 出荷額は前年からの増加額が大きい順に，鉄鋼業（2346 億円増），輸送用機械器具製造業（2067 億円増），情報通信機械器具製造業（1666 億円増）
- ◆ 付加価値額は前年からの増加額が大きい順に，輸送用機械器具製造業（1033 億円増），鉄鋼業（810 億円増），情報通信機械器具製造業（655 億円増）
- ◆ 情報通信機械器具製造業は，出荷額，付加価値額とも前年からの増加率が最高

《市町別の状況》

- ◆ 出荷額は前年からの増加額が大きい順に，福山市（2106 億円増），呉市（1935 億円増），東広島市（1757 億円増），広島市（1469 億円増），尾道市（1254 億円増），三原市（727 億円増）
- ◆ 付加価値額は前年からの増加額が大きい順に，呉市（1219 億円増），広島市（791 億円増），尾道市（629 億円増），東広島市（473 億円増），福山市（307 億円増），府中町（179 億円増）

図 17 出荷額及び付加価値額の推移



2 産業別の状況

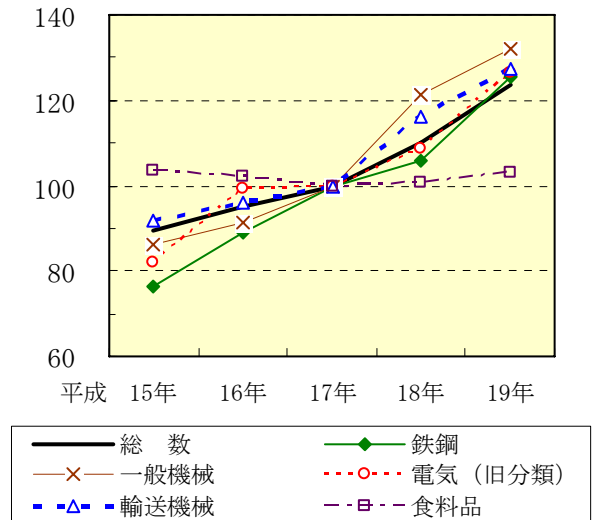
(1) 製造品出荷額等

出荷額は、9兆6144億円〔前年比12.1%増(1兆357億円増)〕で5年連続の増加となった。特に、平成18年から2年連続で前年比2桁増と高い伸びとなり、これまでの最高であった平成3年(9兆3987億円)を上回り、史上最高となった。(表1)

前年と比較すると、最も減少額が大きいのは木材・木製品製造業(△51億円減)、最も増加額が大きいのは鉄鋼業(2346億円増)であり、鉄鋼業に次いで増加額が大きい産業は、輸送用機械器具製造業(2067億円増)、情報通信機械器具製造業(1666億円増)、一般機械器具製造業(1052億円増)であった。また、増加率が最高となったのは情報通信機械器具製造業(39.7%増)であった。(表7)

上位産業の推移をみると、横ばい傾向にある食料品製造業を除いて、輸送用機械器具製造業、鉄鋼業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業(旧分類)で大きく増加しており、全体としても同様に大きく増加している。(図18)

図18 製造品出荷額等：上位産業の推移
(平成17年=100)



(2) 付加価値額

付加価値額は、3兆2241億円〔前年比15.0%増(4204億円増)〕で2年ぶりの増加となり、平成4年以来、15年ぶりに3兆円台を回復し、これまでの最高であった平成3年(3兆1926億円)を上回り、史上最高となった。(表1)

前年と比較すると、最も減少額が大きいのはパルプ・紙・紙加工品製造業(△87億円減)、最も増加額が大きいのは輸送用機械器具製造業(1033億円増)であり、輸送用機械器具製造業に次いで増加額が大きい産業は、鉄鋼業

(810億円増)、情報通信機械器具製造業(655億円増)、一般機械器具製造業(574億円増)であった。また、増加率が最高となったのは情報通信機械器具製造業(44.5%増)であった。(表7)

上位産業を前年と比較すると、輸送用機械器具製造業、一般機械器具製造業、鉄鋼業、電気機械器具製造業(旧分類)、食料品製造業が増加しており、全体としても大幅な増加となった。

しかし、鉄鋼業は平成18年の減少幅が大きく、平成19年は前年を上回ったものの、平成17年よりも大きく水準を落としている。(図19)

図19 付加価値額：上位産業の推移
(平成17年=100)

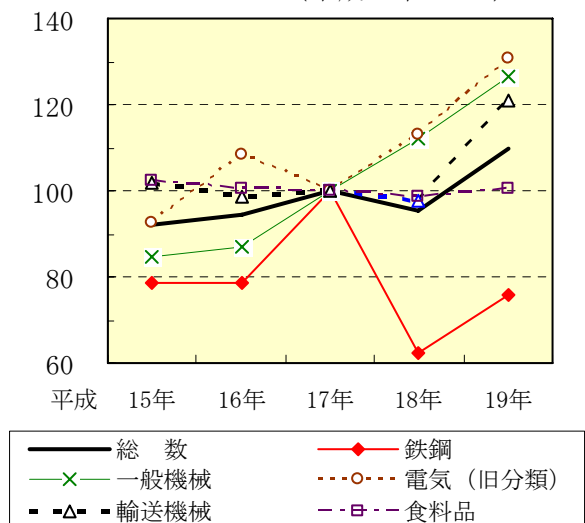


表7 産業別の主要項目（参考値）

産業中分類	製造品出荷額等			付加価値額（従業者29人以下は粗付加価値額）		
	平成18年	平成19年 （参考値）	前年比	平成18年	平成19年 （参考値）	前年比
総数	8,578,639	9,614,366	12.1	2,803,656	3,224,055	15.0
生活関連型産業	869,304	913,833	5.1	354,258	361,565	2.1
09 食料品製造業	477,435	487,994	2.2	184,144	187,573	1.9
10 飲料・たばこ・飼料製造業	52,928	56,821	7.4	17,595	17,841	1.4
11 繊維工業	53,501	55,143	3.1	21,243	25,725	21.1
12 衣服・その他の繊維製品製造業	64,269	65,252	1.5	30,117	26,534	△ 11.9
14 家具・装備品製造業	56,561	52,702	△ 6.8	25,735	22,425	△ 12.9
16 印刷業	104,152	132,004	26.7	44,192	50,913	15.2
21 なめし革・同製品・毛皮製造業	979	1,131	15.5	428	531	23.9
32 その他の製造業	59,480	62,787	5.6	30,803	30,024	△ 2.5
素材関連型産業	3,067,292	3,542,502	15.5	1,060,767	1,239,671	16.9
13 木材・木製品製造業	148,319	143,233	△ 3.4	50,923	48,759	△ 4.3
15 パルプ・紙・紙加工品製造業	112,556	116,655	3.6	34,827	26,160	△ 24.9
17 化学工業	337,077	374,268	11.0	118,158	131,609	11.4
18 石油製品・石炭製品製造業	11,852	13,494	13.9	4,465	4,226	△ 5.4
19 プラスチック製品製造業	401,970	484,389	20.5	135,601	174,182	28.5
20 ゴム製品製造業	91,144	96,020	5.3	47,705	46,313	△ 2.9
22 窯業・土石製品製造業	111,494	128,167	15.0	59,595	67,021	12.5
23 鉄鋼業	1,265,600	1,500,247	18.5	375,602	456,584	21.6
24 非鉄金属製造業	276,500	353,158	27.7	102,256	140,443	37.3
25 金属製品製造業	310,780	332,871	7.1	131,634	144,376	9.7
機械関連型産業	4,642,044	5,158,031	11.1	1,388,632	1,622,818	16.9
26 一般機械器具製造業	1,180,907	1,286,121	8.9	454,491	511,932	12.6
27 電気機械器具製造業	182,872	193,776	6.0	69,851	73,183	4.8
28 情報通信機械器具製造業	419,949	586,523	39.7	147,024	212,499	44.5
29 電子部品・デバイス製造業	641,809	668,569	4.2	251,564	255,840	1.7
30 輸送用機械器具製造業	2,155,625	2,362,316	9.6	432,348	535,666	23.9
31 精密機械器具製造業	60,880	60,727	△ 0.3	33,355	33,699	1.0

注 平成19年調査において、調査項目が追加（転売収入など製造活動以外の項目を新たに調査）されたことなどにより、製造品出荷額等及び付加価値額については、前年までの数値とは接続しなくなった。

このため、前年までとの比較ができるよう、前年までの定義に近似する形で県が独自に算出した数値を「参考値」とした。

3 市町別の状況

（1）製造品出荷額等

出荷額は、前年と比較すると、海田町（△135億円減）、三次市（△400万円減）で減少したものの、福山市（2106億円増）などの21市町で増加した。（表8）

前年からの増加額が大きい順は、福山市（2106億円増）、呉市（1935億円増）、東広島市（1757億円増）、広島市（1469億円増）、尾道市（1254億円増）、三原市（727億円増）となっている。（表8）

また、前年からの増加率が高い順は、尾道市（25.7%増）、大崎上島町（23.7%増）、竹原市（20.6%増）、呉市（19.2%増）、北広島町（17.6%増）、江田島市（16.5%増）となっている。（表8）

(2) 付加価値額

付加価値額は、前年と比較すると、大崎上島町(△58億円減)など4市町で減少したものの、呉市(1219億円増)など19市町で増加した。(表8)

前年からの増加額が大きい順は、呉市(1219億円増)、広島市(791億円増)、尾道市(629億円増)、東広島市(473億円増)、福山市(307億円増)、府中町(179億円増)となっている。(表8)

また、前年からの増加率が高い順は、府中町(138.6%増)、北広島町(36.6%増)、尾道市(35.7%増)、坂町(32.6%増)、竹原市(32.1%増)、呉市(25.9%増)となっている。(表8)

表8 市町別の主要項目(参考値)

市区町	(単位:百万円, %)			(従業者4人以上の事業所)		
	製造品出荷額等			付加価値額(従業者29人以下は粗付加価値額)		
	平成18年	平成19年 (参考値)	前年比	平成18年	平成19年 (参考値)	前年比
総数	8,578,639	9,614,366	12.1	2,803,656	3,224,055	15.0
広島市	2,224,200	2,371,149	6.6	544,524	623,665	14.5
中区	69,170	67,118	△ 3.0	32,260	30,400	△ 5.8
東区	15,155	16,094	6.2	6,832	7,551	10.5
南区	1,173,626	1,254,032	6.9	179,627	204,821	14.0
西区	271,947	264,258	△ 2.8	86,980	98,145	12.8
安佐南区	155,126	187,551	20.9	61,919	75,492	21.9
安佐北区	239,698	265,210	10.6	92,045	115,364	25.3
安芸区	240,616	254,902	5.9	66,327	74,301	12.0
佐伯区	58,862	61,984	5.3	18,534	17,591	△ 5.1
呉市	1,007,773	1,201,298	19.2	470,855	592,788	25.9
竹原市	86,848	104,751	20.6	18,548	24,499	32.1
三原市	487,770	560,426	14.9	167,202	180,799	8.1
尾道市	488,432	613,798	25.7	175,995	238,858	35.7
福山市	1,686,522	1,897,132	12.5	549,036	579,760	5.6
府中市	244,387	261,003	6.8	133,449	141,350	5.9
三次市	133,717	133,713	△ 0.0	38,050	41,495	9.1
庄原市	45,394	48,935	7.8	18,376	18,217	△ 0.9
大竹市	262,998	284,631	8.2	79,661	87,203	9.5
東広島市	1,132,087	1,307,804	15.5	375,747	423,033	12.6
廿日市市	157,654	168,559	6.9	65,615	69,302	5.6
安芸高田市	108,907	120,002	10.2	34,351	39,077	13.8
江田島市	17,545	20,448	16.5	8,647	9,845	13.9
府中町	115,474	120,162	4.1	12,923	30,840	138.6
海田町	133,328	119,802	△ 10.1	32,665	32,234	△ 1.3
熊野町	22,820	24,931	9.3	10,708	12,380	15.6
坂町	52,542	54,857	4.4	3,841	5,092	32.6
安芸太田町	4,144	4,478	8.1	1,695	1,616	△ 4.6
北広島町	105,457	124,061	17.6	41,846	57,143	36.6
大崎上島町	40,546	50,142	23.7	11,656	5,887	△ 49.5
世羅町	13,470	14,865	10.4	5,466	6,112	11.8
神石高原町	6,625	7,418	12.0	2,800	2,860	2.2

注 平成19年調査において、調査項目が追加(転売収入など製造活動以外の項目を新たに調査)されたことなどにより、製造品出荷額等及び付加価値額については、前年までの数値とは接続しなくなった。

このため、前年までとの比較ができるよう、前年までの定義に近似する形で県が独自に算出した数値を「参考値」とした。